



にこにこ通信



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来て下さいね。



自由利用について

月～金曜・土（月2回） 午前9時～午後3時

★自由に遊び来て下さいね。

いろいろな活動の写真



★命の授業★

～中町北小学校・杉原谷小学校～



小学生からの質問タイム
母子手帳やエコー写真も真剣に見ています！



お兄ちゃん・お姉ちゃんに
抱っこしてもらったよ♪



★子育てカーニバル・メッセージ展より★



「子育ては本当に難しい」
最近はこの言葉が私の口癖になっているような気がします。そんな悩んでいる私の話をセンターの先生方に聞いてもらいました。
私が思っていた子どもの欠点は先生方にすれば長所でした。
子どもは本当に色々、活発な子、おとなしい子、よそのお家の子育てが正解のように見えていたこの数ヶ月、本当にしんどかったですが、少し楽になりました。
子どものためだけのセンターではなく、親のためにもあるのだと改めて思いました。

☆多可町子育てふれあいセンター <Email>kosodate@town.taka.lg.jp

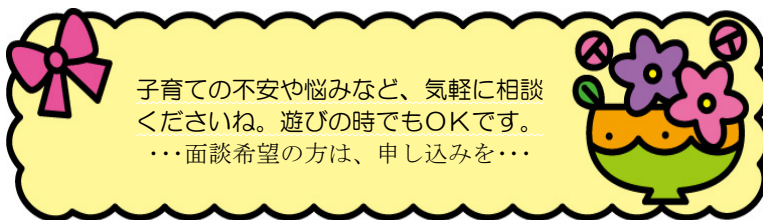
〒677-0114 多可町八千代区仕出原 353 <TEL/FAX> (0795) 37-2525

12月の予定

★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

日	月	火	水	木	金	土
				1 ・平日親子交流会 計画会 子育てふれあいセンター	2 ・にこにこ教室 (H22～25) 旧中町幼稚園 ★サロン交流 西脇公会堂	3 自由開放 子育てふれあいセンター
4	5 ・おやこ活動 (H28) 旧中町幼稚園 ・食育C 子育てふれあいセンター	6 ・おやこ活動 (H27) 旧中町幼稚園	7 ・おやこ活動 (H25) 旧中町幼稚園	8 ・おやこ活動 (H26) 旧中町幼稚園	9 ★親子あそび 旧中町幼稚園	10 ★クリスマス 親子コンサート リーベリエン
11	12 ・ぼかぼかC ・音あそびC 子育てふれあいセンター	13	14	15 ★平日親子交流会 「親子クリスマス会」 交流会館	16 ・にこにこ教室 (H22～25) 交流会館	17
18	19 ★学習会 旧中町幼稚園	20	21 ★親子あそび 旧中町幼稚園	22	23 天皇誕生日	24
25	26 ★赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター	27	28	29 閉館	30 閉館	31

★「年度別おやこサークル活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ぼかぼかたより』をご覧ください。



家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあらゆる相談があれば、お気軽にご連絡くださいね。

こども未来課 教育委員会 電話 32-2385

自由利用について

開館日：月曜日～金曜日（土曜日・・・月 1～2 回）

開館時間：9 時～15 時



ままごとあそび



手作りすべり台は
みんなのお気に入り



ソフトブロックでダイナミックあそび



図書コーナーではゆっくり
絵本の読み聞かせ



のりものもたくさんあるよ



サロンのみなさんと一緒にクリスマスの飾り作り
音あそびサークルによるハンドベル演奏

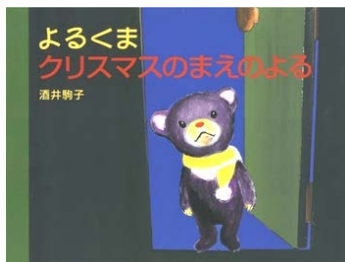
持ち物：お茶

持ち物：お茶



*** 詳細については、チラシをご覧ください。**

クリスマスの絵本紹介



作： 酒井 駒子
出版社： 白泉社

ねえママ、夜になる
とかわいゐいともだち
がやってくるんだ。
夜みたいにくろい、
くまの子——。とも
だちへの思いやり
と、おかあさんを慕
う気持ちをあたたか
く描いた愛らしい絵
本です。

*提供できる野菜があれば、
事前に持ってきてください。



プレゼント 200 円程度のもの（食べ物以外）
 おにぎり・おわん（ポトフ用）・スプーン
 お盆（あれば便利です）・お茶

お母さん委員さんと
楽しい企画を準備して
います。ぜひみなさん
参加してくださいね。



将来を見通した子育てを考える

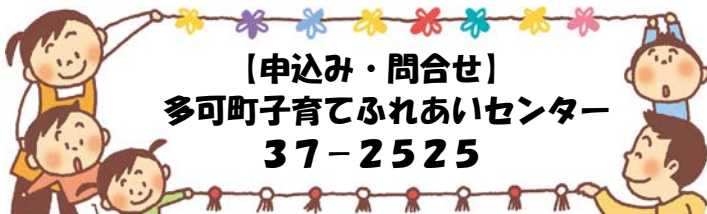
講 師：細尾 道宏氏

*学校教育の現場で、多くの子どもたちとかかわってこられた経験から、乳幼児期に何を子どもたちに伝えていくことが大切かをお話いただきます。

赤ちゃん広場

***誰でも参加できます。気軽にお越しくださいね。**

多可町子育てふれあいセンター
37-2525



遊びが知力と心を育てる

精神のエネルギーをコントロールする力

人間は、知能指数が高いだけでは幸せな人生を送ることはできません。それよりもっと大事なことがあるのではないかといわれるようになって、調べられてきました。そこで目をつけられたのが、「精神のエネルギーをコントロールする力」なのです。

「困難に出会ってもめげない」「やる気をうまく起こすことができる」「落ち込んでも立ち直りが早い」「相手の気持ちを大事にする」……。

最近の子どもたちは、心が育っていないとか、体力がないといった話をよく聞きますが、心身のエネルギーに満ちてそれをコントロールするのが上手な子どもに育つためには、この「精神のエネルギーをコントロールする力」を高める工夫や努力をすることが大事です。感情をいっぱい出し、それを対人関係場面でも上手にコントロールする。そのためには、幼児期に十分な「遊び」を体験していることが重要です。

子どもは「遊び」のなかで五感をフルに使い、エネルギーを高め、想像力をふくらませます。そして、他人と協調し、考えます。子どもの頭と心とからだをバランスよく育てるためには、「遊び」にまさるものはないのです。

子どもの「遊び」の原点は「探索活動」

「遊び」ということを考えるとき、大人は、おもちゃを使って遊ぶことを考えがちですが、遊びの原点は「これなーに」「あれなーに」という好奇心から生まれる探索活動です。

歩けるようになったころから、本格的な探索活動が始まります。この時期の子どもは、自分が生まれたこの世界はどうなっているのだろうか、とあちこち探索しながら、ワクワクした毎日を過ごしているのではないのでしょうか。

二歳近くになると、からだの機能も発達してくるので、自分ができることを試してみたくになります。走ったり、高いところに登ったり、飛び下りたり。自分が「できる」ということがうれしくてたまらないのでしょう。何かのためでなく、そのこと自体を楽しんでいます。

四～五歳になって友だち遊びができるようになると、社会性も身につきます。楽しく遊ぶには約束やルールを守らないといけないこともわかってくるのです。集団で行動したり遊んだりすることが子どもの社会性を育てるもっとも大事な活動になります。

「やりたい」ことが「できる」という体験

遊びながら育つ心とは、なによりも「できる」という自己有能感です。いろいろなことを頭でイメージできるようになると「ごっこ遊び」ができるようになります。たとえば、ぬいぐるみや人形にご飯を食べさせたり、バッグをもってお母さんのように買い物にでかけたりします。

「探索活動」も「ごっこ遊び」も、「できる」という自信＝自己有能感を育てるうえでとても大きな役割を果たしています。それは自我の根っここの部分がつくられるということです。

「自分はできる」と自己を肯定する感覚は、これからの長い人生を生きるうえで大きな力になるにちがいありません。この力は基本的に、子どもの遊びの豊かな展開のなかで身につけていくものなのです。

「0～5歳 素敵な子育てしませんか」

著：汐見稔幸（旬報社） より抜粋